

セキュリティを攻めの組織戦略として取り組むには 何が必要なのでしょう

IoT, クラウド, AI, 5G, 私たちの生活を一変させる情報通信技術変化の潮流が押し寄せています。本研究室では急速に変化する情報通信技術利用の進化を加速させる情報セキュリティとはどのようなものかを考えようとしています。研究テーマはそれぞれの興味, バックグラウンド, 使命感などにより自由に選びます。共通しているのは, 自分の研究に意義があると確信できていること。それさえあれば, 必ず目指すゴールに到達できます。

【学生の研究テーマ】

- 重要インフラ事業者とその設備関連事業者におけるサイバーセキュリティの意識に関する研究
- 安全に配慮したSaaSを提供するために考慮すべきエンジニアの役割の提案
- 地域金融機関におけるクラウドサービス利用の課題と推進について
- 地方自治体におけるサイバーセキュリティの意識に関する研究
- 攻撃被害を最小化するインシデントハンドリング～経営層視点での事後対応～
- 視聴データを用いたサービスに向けたリスクコミュニケーションモデルの提案
- アプリケーション開発への効果的なセキュリティ導入
- 地方公共団体における情報セキュリティマネジメントの現状と課題に関する研究
- データ利活用拡大に伴う情報セキュリティ上の論点について
- 重要インフラ企業における情報セキュリティ対策の考察

など…

研究室活動

研究室ゼミ（毎週火曜 5, 6 限）

各位の研究内容や調査内容、論文の紹介等を通じて所属員の知見を深める。

ゼミ合宿（年数回）

旬なテーマについてグループワークを通じて議論を実施する。

※コロナ禍により、現在休止中

その他

学会、各種セミナー／コンテスト参加

など…

指導教員

藤本 正代

情報セキュリティ研究科・教授

1993年5月 MIT 技術政策大学院修了
2000年6月 東京工業大学 社会理工学研究科 経営工学専攻
博士課程修了, 経営工学博士
GLOCOM客員研究員

メーカーやシンクタンクで、情報セキュリティに係る調査研究・コンサルティング、医療情報システム関連の業務等に従事。専門分野はリスクマネジメント、ガバナンス等。

2004年～2018年情報セキュリティ大学院大学客員教授、2007年～2017年筑波大学客員教授。

内閣サイバーセキュリティ戦略本部普及啓発・人材育成専門調査会委員、総務省情報通信審議会や国立研究開発法人審議会の専門委員ほか、政府機関等の委員会委員。企業や団体向け講演、多数。日本セキュリティマネジメント学会、情報処理学会所属。2009年情報化月間総務省情報通信国際戦略局長表彰受賞員。

